

18 防災物品等

【関連章第6章4】

事例 「電気溶接器の養生で使用していた防災シートにより延焼拡大を防いだ火災」

出火時分 4月 14時ごろ

用途等 新築工事現場

被害状況 防災シート3枚、防災ネット1枚焼損
概要

この火災は、新築工事建築中建物8階の屋外足場から出火したものです。

出火原因は、作業員が8階工事現場でALCパネルを開口アングルにアーク溶接中、養生していた防災シートに溶接器の火花が散ったことで着火し出火したものです。作業員がアーク溶接中に養生していた防災シートから煙が出ているのを発見しました。作業員は、現場責任者へ連絡、さらに現場責任者から現場所長へ連絡し、現場所長が携帯電話で119番通報しています。

作業員は他の作業員と協力し建物内に防災シートを建物内に取込み、消火用に準備していたポリタンク容器の水をかけ初期消火しました。

教訓等

この火災では、電気溶接器で溶接作業中に出火しました。予め消火用の水を準備し、溶接による火花が飛散しないよう防災シートで周囲を養生した上で作業を行っています。防災シートが防災物品であったこと、用意していた消火用ポリタンクを使用しすぐに初期消火できたことが火災の拡大を防いでいます。

工事中の建築物で使用する工事用シートは防災性能を有する防災物品を使用しなければなりません。防災性能とは初期火災の際にシート等に燃え移ってもそれ自身が延焼拡大の要因とならない程度の低燃焼性をいい、火災の成長を抑制し、消火及び避難の時間をできるだけ長く確保するために繊維等に必要とされる性能をいいます。

工事現場では溶接等火花が出る作業も多く、周囲に可燃物があり一度着火すれば瞬く間に延焼する危険性もあります。周囲の状況の把握と入念な火災予防のための準備が必須です。また、本火災のように、防災物品は火災の初期段階では火災の発生を防止し、延焼拡大を防止することが期待できることから身近な防火対策として有効です。

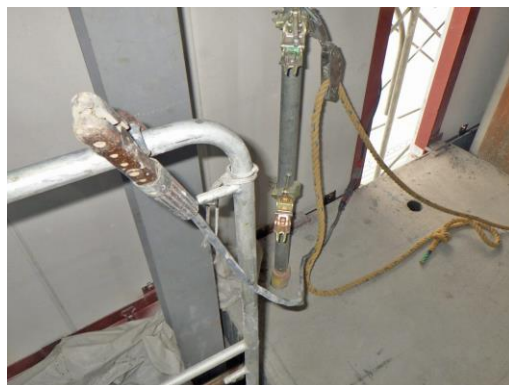


写真 18-1 使用した電気溶接器の状況

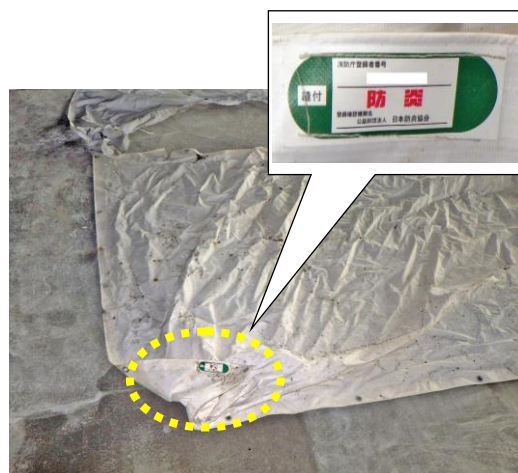


写真 18-2 防災シートの焼損状況